

WEEKLY NEWS 2016 週報 通算 2224回 《37回》

第2640地区

和歌山東南 ロータリークラブ

<http://www3.cypress.ne.jp/tonan-rotary.html>



人類に
奉仕する
ロータリー

会長 土屋一博 幹事 中曾真二郎
会報委員長 山本真司

例会日：水曜日 例会場：ミール華月殿
第1・第2：18:30～(夜)
第3・第4・第5：12:30～(昼)
事務局 E-Mail
a-rotary@coral.cypress.ne.jp

本日の例会
5月10日(水)
18:30～華月殿

- ・開会点鐘 土屋会長
- ・ロータリーソング 君が代・われ等和歌山東南ロータリー・パースデイソング
- ・出席報告(例会委員会)
- ・ニコニコ箱(寄付金)報告
- ・会長挨拶
- ・幹事報告
- ・委員会報告
- ・行事「クラブフォーラム 青少年奉仕(東南育英会担当)委員会」卓話 国際ロータリー第2640地区青少年交換委員会 委員長 山田正人様
- ・閉会点鐘 土屋会長

先週例会報告 会場監督 山田さち子

ゲスト・ビジターはございません。

会長挨拶

土屋 一博 会長



皆様こんにちは、本日は出席が少ないのでさびしいです。次回より沢山出席頂きますようよろしくお願いいたします。本日は、寺下さんの卓話です。楽しみです。

さて、先日22日(土)に、和歌山RC80周年記念例会及び祝宴に幹事と共に行き参りました。160名の盛大な会で、各ロータリークラブの会長・幹事、韓国南釜山ロータリークラブ、台湾板橋ロータリークラブからの出席やスポンサークラブの神戸のロータリークラブ会長エレクト様、あと事情で会を離れてしまった会員さん達、今回より支援をしている学生さん達の姿もありました。

私達の親クラブは和歌山南ロータリーですが、一番古い和歌山ロータリークラブは神戸から来ていたのだと知りました。又、新しい青少年事業として、青少年育成奨励事業というのをされていました。学校の枠を越えて又、スポーツも加えた学生奨学金だそうです。

先週の水曜日に幹事と青少年委員長の竹中さんと向陽高校へ行って参りました。校長先生は土肥校長先生に交わっています。又新一年生の募集用紙もお渡ししています。私たちは今回で終わりです。後は鯨さんにバトンタッチです。

最後に、先々週入院・手術をされた中板さんのお見舞いに先週水曜日、私と幹事、楠見さん、山本さん、有本さんで行ってきました。丁度食事もとれるようになったところで、相変わらずスーパーマンの様な回復力で元気に話をされ安心して下さいました。

それから、太田さん、東南ゴルフ優勝されたそうですね、完全復活おめでとうございます。以上です。



和歌山東南ロータリークラブ

	ニコニコ	米山記念奨学会	ロータリー財団	東南育英会
累計	2,031,157	343,000	273,200	26,000

出席報告			出席者	出席率
会員総数	42名	4/26	24名	60.00%
出席免除会員	3名	4/5	33名	84.62%

幹事報告

中曽真二郎 幹事

- ① 2件米山・他より事務局に届いておりますので、各テーブルに一部置いてあります。お目通しいただき、御入用の方はお持ち帰りください。
 - ・米山梅吉館報 2017 春号 Vo129
 - ・和歌山市内 9RC 親睦ゴルフ大会お礼状・収支報告書 (アベリア RC)
- ② 2018-2019 年度 ロータリー長期青少年交換募集の案内
応募資格・派遣時期と期間：日本国籍を有し、出発時の年齢が 18 歳未満の高校生であること等。2018 年 8 月出発、2019 年 7 月に帰国。滞在期間は 1 年を越えない。
応募締切：2017 年 8 月末日。 派遣可能国：アメリカ、ドイツ、タイ、カナダ、インドネシア等
- ③ 来週(5/3 (水))の例会は祝日(憲法記念日)休会です。
- ④ 2640 地区ホームページ「地区内活動報告」に社会奉仕事業『和歌山電鐵貴志川線たま電車内本棚に図書 350 冊寄贈』が掲載されております。皆様ぜひご覧ください。
- ⑤ ロータリーレート 5月は1\$=110円です。



ニコニコ箱

谷口 拓 会計

土屋君・寺下さん卓話楽しみにしています。坂本龍馬に続き、壮大なテーマですね。よろしくお願ひします。

中曽君・釜中さん、鯨さん、先日はありがとうございました。

太田君・東南会ゴルフ、優勝しました。ありがとう。

坂口君・鯨さん 先日 ありがとうございます。

寺下君・思いつきの卓話ですいません。

谷口君・鯨さん、中曽さん、先日はありがとうございました。

I DM B班・4月21日開催の残金です。

本人お誕生日お祝い・中谷君、宇治田君。



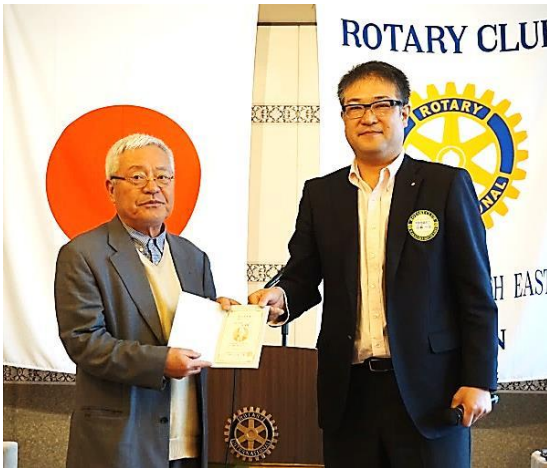
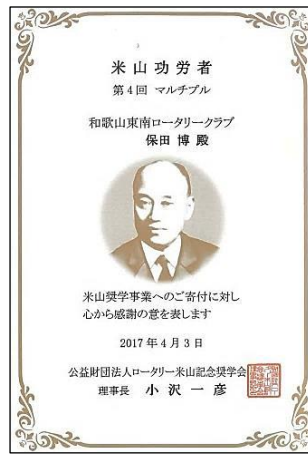
ロータリー財団

保田君・桜の花も終わり、これからは藤の花ですかー？

《 表彰 》 米山功労者・米山功労クラブ

第 22 回メジャードナー	神谷尚孝会員	第 22 回 米山功労クラブ
第 4 回マルチプル	保田 博会員	
第 2 回マルチプル	吉田 遼会員	





「ロータリーとシェルターボックスがペルーの洪水被害者を支援」

MY ROTARY より抜粋

By 国際ロータリー職員

ロータリーは、ペルーで2月に発生した洪水の被害者を支援するため、パートナー団体である ShelterBox と活動してきました。この洪水と土砂崩れによって、南アメリカ西部の数カ国における家屋や学校、教会など、多くの建物が破壊されました。ペルーのロータリークラブやローターアクトクラブも、洪水の被害が拡大していることを報告。シェルターボックスは現地のロータリークラブや自治体と協力し、北東部における被害状況の把握と被害者への支援方法を模索しています。今回の洪水で、すでに100人以上が死亡しています。ロサンゼルス・タイムズ紙は、70万人が家を失ったと報道しています。また、今週は大雨となる予報も出ています。シェルターボックス関係者は、洪水が収まっても大量の泥が残され、これがさまざまな健康被害（目、肌、呼吸器への悪影響）につながると話しています。

《2017年4月17日》

4月お誕生日会員卓話 寺下 能明会員

「また聞きビッグバンの話～宇宙の誕生について～」



1. 宇宙観の変遷

古代・中世の天動説から始まり、1543年のコペルニクスによる地動説の主張を経て、ガリレオ・ガリレイによる望遠鏡観測で地動説が確認され、ニュートンからアインシュタインまでは、静的で永遠の宇宙として扱われてきました。

1929年エドウィン・ハッブルが望遠鏡で銀河の膨張を観測して以来、宇宙の膨張理論が広まり、現在では138億年前にビッグバンと呼ばれる最初の空間時間の超過密状態のカオス状態から超爆発が生まれ、今もって宇宙は膨張していると理解されています。

2. 現在の宇宙空間の拡がり（地球を出発点にイメージする）

地球→月→太陽系（金星，火星，木星，土星，…etc.）→天の川銀河（直径10万光年）

太陽系以外の天体の距離を表す単位。光が真空中を1太陽年の間に進む距離
1光年は約9兆4600億キロ

→銀河系（半径100億光年）→観測できる限界（半径470億光年）→宇宙の果て？

「ロータリー学友世界奉仕賞に緒方貞子氏」

MY ROTARY より抜粋

《2017年2月16日》

記事：Sallyann Price

元国連難民高等弁務官であり、元ロータリー国際親善奨学生緒方貞子氏に、2016-17年度ロータリー学友世界奉仕賞が贈られました。外交官の家族に生まれた緒方氏は、第二次世界大戦後、国際関係に関心を抱き、米国ワシントンD.C.のジョージタウン大学大学院へ留学。1951年、日本人として2人目のロータリー国際親善奨学生となりました。元国連難民高等弁務官の緒方貞子氏が、2016-17年度ロータリー学友世界奉仕賞の受賞者に選ばれました。「ロータリー奨学生として留学中、社会奉仕の重要性を学んだだけでなく、ロータリアンの方々との交流を通じて、見識を広げ、さまざまな経験ができた」と緒方氏は振り返ります。「『超我の奉仕』というロータリーのモットーに深い感銘を受け、以来、これが私の人生の指針となってきました」カリフォルニア大学バークレー校から博士号を取得後、日本に帰国した緒方氏は、現在ロータリー平和センターがある国際基督教大学と早稲田大学で教鞭をとりました。その後、1991年に国連難民高等弁務官（UNHCR）に就任。さらに、国連総会で日本代表、国連日本政府代表部とユニセフの執行理事会議長も歴任しました。国連難民高等弁務官としての10年間、緒方氏は、湾岸戦争、ルワンダと旧ユーゴスラビアでの民族紛争、冷戦時代のアフガニスタン紛争における難民、そして旧ソビエト連邦から逃れてきた難民を支援しました。緒方貞子氏は1951年、日本人として2人目のロータリー奨学生となりました。「『超我の奉仕』というロータリーのモットーに深い感銘を受け、以来、これが私の人生の指針となってきました」難民問題と国際的な安全保障には深い関係があると訴えることで、国連難民高等弁務官事務所の予算と人員を拡大。国連安全保障理事会との関係を強化し、その貢献が高く評価されています。「難民を守ることは、その性質上、論争の的となり得る」と緒方氏。「行動を重んじるダイナミックな（UNHCRの）活動を実行するには、主権国家に挑むことが求められます。これらの国は自国民以外、そして時には自国民への対応に迫られるからです」

2000年にUNHCRを退職後も、政府や国際関係の舞台で積極的に活動し、国連人間の安全保障委員会共同議長やアフガニスタン支援日本政府特別代表などを歴任。国際協力機構（JICA）の理事長を2期務めたほか、小泉純一郎元首相が設置した有識者会議のメンバーとしても活躍しました。

政府関係の仕事に携わったことで、変化をもたらす民間人と市民グループの力を知ったと緒方氏は話します。「私たちは急速に変化する世界に生きています。世界がこれまでになく複雑な脅威にさらされている中で、市民社会の役割や人びとのつながりが、これまで以上に重要性を増しています」

最優秀学友会賞は、ロータリー第1210地区学友会（英国）に授与されました。同学友会は、定期的にクラブ例会や地区行事に参加し、地区内の家庭に絵本を寄贈するプロジェクトを実施しています。